



活動報告

アルミニウム車両委員会見学会（九州）を開催

アルミニウム車両委員会は鉄道車両へのアルミ材料の適用拡大を目的として、鉄道研究機関、鉄道事業者、車両メーカー、アルミメーカーの横断的組織として、（一社）日本鉄道車輛工業会と共同で運営しています。

同委員会では1月25日（月）～26日（火）にて、アルミ合金製車両のJR九州豪華客車「クルーズトレインななつ星 in 九州」（於：竹下駅）および筑肥線305系車両（於：唐津車両センター）の視察、そして会員の株式会社丸久さんのご尽力により沖新船舶工業様（佐世保市）でアルミ溶接技術を駆使したアルミ造船工程の見学を計画致しました。

当日は数十年に一度の大寒波が九州に訪れ、大雪による交通への影響で残念ながら25日に予定していた沖新船舶工業様への見学は中止となりましたが、26日のJR九州での視察会は13名出席にて無事開催されました。

「ななつ星」は3泊4日（または1泊2日）で九州を回る豪華列車ですが、その出発前の客車を視察させて頂きました。先頭の機関車を除く客車7両は全てアルミ合金製車両であり、お客様定員28名をおもてなしするラウンジカー、ダイニングカーが各1両、スイートの客車5両から構成され、和と洋を融合した内装は最上の居心地を味わうことができます。

・JR九州「ななつ星」のホームページはこちらから⇒ <http://www.cruisetrain-sevenstars.jp/>



ななつ星 in 九州 客車



ラウンジカー室内（写真提供：JR九州）

また「305系」も6両編成のアルミ合金製車両であり、現在筑肥線・福岡市地下鉄空港線との直通運転車両として運行されています。1号車は唐津方面への観光ニーズに対応してフローリング床とし、また車内・車外表示器は4ヶ国語（日、韓、中、英語）対応しています。



筑肥線 305 系車両



305 系車内での集合写真